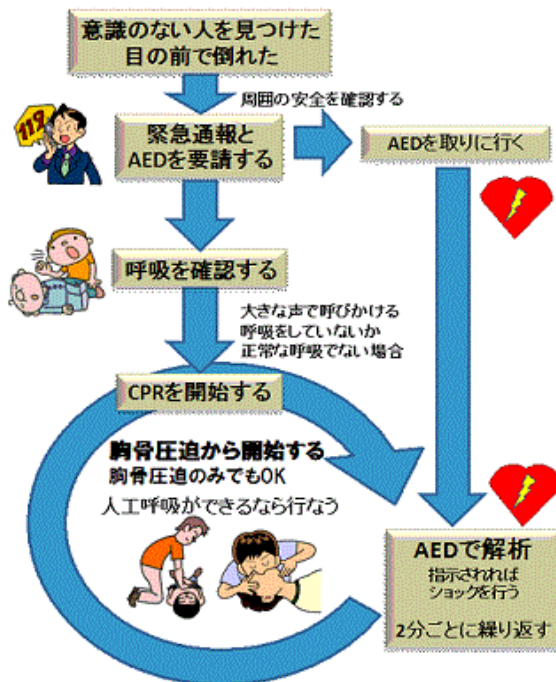


暑さ寒さも彼岸までと申しますように過ごしやすい季節になってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？日高病院では職員向けにBLS&AED講習会をおこないました。

BLSとは、Basic Life Support(一次救命処置)の略称です。一次救命処置とは、急に倒れたり、窒息をおこした人に対して、その場に居合わせた人が救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行う応急手当のことです。

専門的器具や、薬品などを使う必要がないので、正しい知識を適切な処置の仕方さえ知っていれば誰でも行うことができます。具体的な例としては次の図のようなことをいいます。



- ①意識のない人を見つけた、目の前で倒れた。
↓ 周囲の安全を確認する
- ②緊急通報とAEDを要請する。
↓
- ③呼吸を確認する。
↓
- ④心臓マッサージを開始する。

→院内講習会の様子

皆さん真剣です。



病院内であっても実際にBLSが必要な場面に遭遇する可能性があります。そんな時に適切な対応ができ、患者様に安心してお越しいただけるようにしてまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

【基本方針】

1. 職員全員がコミュニケーションを深め真のチーム医療を実践する
2. 他の医療機関との連携を大切にし、紹介された患者に対して責任を持つ
3. 質の高い医療と満足できる情報を提供する
4. 最新の医療技術、医療知識を導入する
5. 日高病院への貢献を重んじる職員を増やし、日高病院の文化をともにつくりあげる
6. 仕事に対する強い倫理観を持ち、地域医療に貢献する職員を大切にする
7. 医師がリーダーシップを発揮する
8. 病院職員にふさわしい服装、品位、能力を身につける